

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科 PAコース											
コンサートプロダクト3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	床鍋隆			実務経験	無	職種					
授業概要											
コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、仕込み作業をスピードアップさせる事も大切です。PAチームとしてのワークスタイルを確立し、更なるミキシングテクニックを実践的に学びます。各コースとの関連やコミュニケーションを本番実習を通して学びます。											
到達目標											
デジタルコンソールのしくみを理解し、バンドに対応した多チャンネルコンソールのしくみが理解できるようになる。ネットワークを利用したデジタル音声伝達の仕組みを理解できるようになる。ラインアレイスピーカーのしくみを理解し、安全に考慮した仕込みができるようになる。スピーカーチューニングや音場補正等環境に応じたシステム構築ができるようになる。外部ホールを使用し本番実習を行い実践的なコンサートPAを実施する。											
授業方法											
1 年次で得た技術、知識をもとに、即戦力となるPAスタッフを目指す実習。デジタルコンソールのしくみとネットワークオーディオの概念、システム構築ができるようになること。ラインアレイスピーカーシステムのしくみと大規模のPAシステムの構築が理解する。片柳記念ホールでの実習だけではなく外部のホールを使用した本番実習を行い、より現場に近い環境で実習する。											
成績評価方法											
* 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 * 授業内容の理解度を確認するために実施する。 * グレードテストを行う。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しません。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。あとは分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消する事。											
教科書教材											
随時、資料等配布											
回数	授業計画										
第1回	1 年次復習：セッティング反復練習、技術確認ができる										
第2回	1 年次復習：セッティング反復練習、技術確認ができる										
第3回	実践的PA機材研究①：デジタルミキサーを理解する										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
コンサート・イベント科 PAコース	
コンサートプロダクト3	
第4回	実践的PA機材研究②：デジタルミキサーを理解する
第5回	実践的PA機材研究③：ラインアレイスピーカーを理解する
第6回	実践的PA機材研究④：ラインアレイスピーカーを理解する
第7回	実践的PA機材研究⑤：エフェクター・周辺機器を理解する
第8回	実践的PA機材研究⑥：エフェクター・周辺機器を理解する
第9回	トータルセッティング実習：ハウス・モニター・ステージ・ライブレコーディングができる
第10回	トータルセッティング実習：ハウス・モニター・ステージ・ライブレコーディングができる
第11回	夏イベント準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第12回	夏イベント準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第13回	サマーライブ仕込み(マイナビBLITZ)：外部会場でのセッティング、リハーサルができる
第14回	サマーライブ本番(マイナビBLITZ)：外部会場での本番、撤収まで安全に終わることができる
第15回	サマーライブ反省会：本番を終えての振り返り、次回のイベントに向けての解決方法を考える